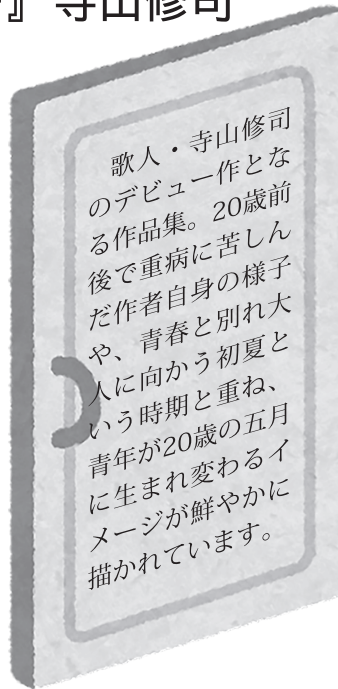
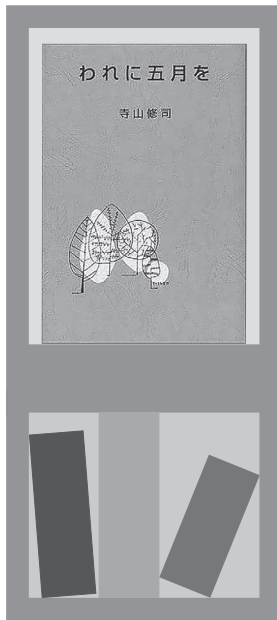


五月に読みたい本3選



今月は十人十色はお休み。代わりに、この季節にぜひ読んでいただきたい本を三冊ご紹介します。ゴールデンウィークもあり、本を読む機会が増えるのでは？ 外出にもぴったりの季節ですが、家でのんびり夏の訪れを感じるのも良いのではないのでしょうか。
(海条)

『われに五月を』 寺山修司



青い空や鳥の鳴く声などの明るい情景からは、新しい世界への期待が伝わってくるようです。一方では戦争や病気の影響もあり、死や祖国について考える歌も含まれます。詩や短歌から成り一編一編が短いので、隙間時間に少しずつ読み味わってみては？ きっと、五月の素晴らしさを体感できるはずですよ！

Cross Word

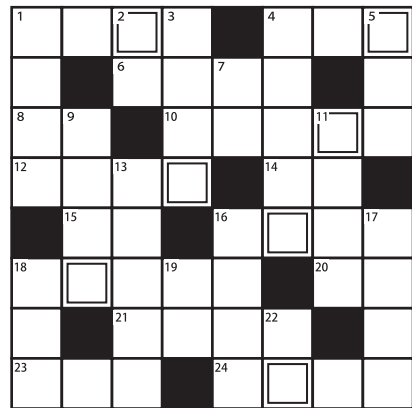
二重枠の文字を並び替え、ある言葉を完成させてください。
(出題：けいた)

タテのカギ

1. 無事故無違反で〇〇〇〇免許
2. 旧ボルトガル領のインドの都市
3. 労力や時間を割いたことに対する対価や礼として支払うもの
4. 結婚式で娘の〇〇〇〇〇〇に涙ぐむ
5. 海が荒れると〇〇〇〇警報が出る
7. 専門を同じくする者の社会。作家の場合は、文〇〇
9. かまぼこ、ちくわ、つみれ、etc.
11. 花札の二人対戦用の遊び方の名前
13. 和菓子でよく使用する豆に由来する色の名前
16. 周囲から結婚を反対された男女が他所へ逃避すること
17. カナダで最も人口が多い都市
18. プールはこれの匂いがする
19. 「荒城の月」の作曲者の苗字
22. 四国では貯水用に用いることもある

ヨコのカギ

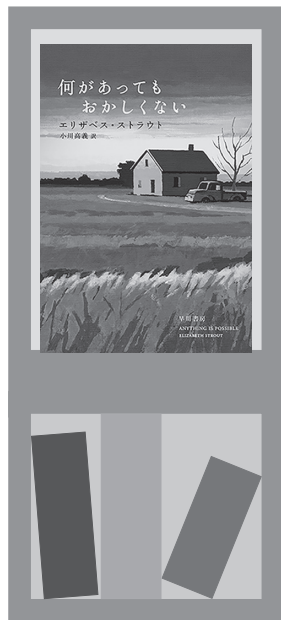
1. 新型コロナウイルスに対する政府の〇〇〇〇な対応に非難が集まった
4. 政治における穏健派のこと
6. 〇〇〇〇石を穿つ
8. 京大西部の食堂・店舗の名前
10. 沖縄土産で定番の焼き菓子
12. 「果物の王様」と呼ばれている果実
14. 億、兆、京、〇〇、……
15. 「百舌鳥」の読み方
16. たどたどしい話し方のこと
18. 白くて細長いきのこ。なめたけの原材料になる
20. 英雄〇〇を好む
21. 飛ぶ鳥を落とす〇〇〇〇の新鋭
23. ひき肉や卵などを水分が飛ぶまで炒つた料理。丼にしても美味しい
24. 対価支払い済みの財・サービスを受給する権利を保障する証券



- ・読者カードの二次元コードからオンラインで回答するか、読者カードに答えを書き、生協各店舗の「ひとことPOST」にお入れください。(5月未まで)
- ・正解者の中から抽選で10名様に生協オンバリュー券1,000円分を贈呈いたします。
- ・オンバリュー券とは、生協の電子マネーにチャージできる券のことで、当選者の方に直接郵送させていただきます。

『何があってもおかしくない』

エリザベス・ストラウト 訳：小川高義



五月を舞台にした二編を含む、九編の短編から成る小説です。一人の女性に関連する人々が、やるせなさや何気ない幸せと共に各々の過去を思い出していきまします。全体を通して家族について考えさせられるので、

母の日をきっかけに読むのもお勧めです！ 過去に囚われるだけでなく、新たな視点で現実を捉え前に進むことができるという、回想の効果を実感させられます。明るさばかりではないものの、元気で勇気をもらえる話です。自分自身や人生に、気楽に向き合ってみませんか？

FROM EDITORS

▼かんたんCookingに初挑戦しました。実はラペ以外作ったことがなかったので、おいしく仕上げる事ができて良かったです。(6・7月号もかんたんCookingやります；あさぎり)

▼サボテンは良いですよ、部屋にほんのちょっとでも緑があるだけで一気に心が安らぎます。(読者のみなさんもサボテンいかがですか？；真都)

▼授業期間が始まる直前ですが、取る授業を50個くらいの中から迷っています。(5月の私はどのような生活をしているのでしょうか；海条)

▼今回初めてクロスワードを作りました。色々慣れてないためボツ案を3つも生成してしまいました.....。(次はもっと上手く作ってみせる；けいた)

▼就活というワケでもなくスーツを着る生活が急に始まったのであれこれ戸惑っています(雨の日にどうやって自転車乗ったらいいんだろう.....。革靴濡れちゃう.....。；ふーぶ)

▼記事を書くためだから仕方ない、必要経費なんだと自分に言い聞かせてコスメをたくさん買ってしまい、現在金欠です。計画性のない買い物はやめましょね.....。(後悔しても遅い；タルトタン)

▼新しい編集部員が入ってくるのかなあ。そんな不安から目先の数字や通知に一喜一憂しながら気を揉んでいる日々です。(少し悩みの種があるだけでこんなに疲れるんですね.....。しんどい.....。；編集長)

『東京ホテル』 原田マハ ほか



蛍が現れ始めるのは五月ごろ。この小説は、蛍を模した光を隅田川に流すイベントを舞台に、五人の作家がそれぞれ描く物語です。幻想的な光は、死者と蛍のつながりを示唆すると共に新たな

生命の象徴ともなります。一人一人が蛍や川から連想するのは、故郷と青春の思い出。毎年訪れる蛍の季節が、共に蛍を見に行くという約束や時代を越えて変わらない心と重ね合わせられ、人々をつなぎます。あなたは、蛍にどのような思いを託したいですか？

『らいふすてーじ』に関するご意見・ご感想は挟み込みの読者カードにご記入の上、生協各店舗に設置されている「ひとことPOST」にお寄せください。たくさんの方の投稿、お待ちしております！

らいふすてーじ編集部ではTwitterで月ごとに記事紹介をしているほか、Webページにてバックナンバーを公開しています。

また、ご意見などはE-Mailでも受け付けております。どうぞご利用ください。

Twitter: @ksgj_lifestage

Web: www.s-coop.net/lifestage/

Mail: ksgjlife@stg.s-coop.net

～7月号 十人十色のテーマ～

夏を乗り切る京大生の秘策

積極的なご応募、お待ちしております！！